

夕刊 新報

行發日六十二月一... (刊休日翌日祭照日)

童話 悔 柏熊暮春

(上) 幸二も、やろ子も村の學で、運動場には人影も見え...

幸二は、狭い田舎の子とききました、幸二は自分...

幸二は、秋も大分末になつた、秋の黄色...

時 代 時 代 時 代... (助詞)

拈華微笑... 占領直後の陣中... 米價依然騰勢...

小林純一... 暮つた夜... 小林純一...

久元... 久元... 久元...

久元... 久元... 久元...

久元... 久元... 久元...



久元... 久元... 久元...

節分豆蒔... 節分豆蒔... 節分豆蒔...

節分豆蒔... 節分豆蒔... 節分豆蒔...

節分豆蒔... 節分豆蒔... 節分豆蒔...

節分豆蒔... 節分豆蒔... 節分豆蒔...

節分豆蒔... 節分豆蒔... 節分豆蒔...

夜陽毒... 淋病... 皮膚病... 婦人病... 院醫科性病村松

編物講習會... 毎日階上で編物と手縫の講習會を催して居ます...

木村病院... 内臓外科 醫學士 整形外科 松永憲一

お醤油は... ヤマフル... 山崎合名會社

大和田醫院... 耳鼻、咽喉科専門... 院長 前田清美

一圓十銭のフランス... マルソー會社元詰... 生葡萄酒

白馬の雪營業所... 白馬の雪營業所... 電話一五八五

藤沼醫院... 内科、小兒科 入院應需... 電話一五八五

冬洋服... 御召替の節となりた... 御召替の御氣に召す品を豊富に取揃へて御座る...

阿部石炭商店... 石炭經濟ノ理想的なストーブ... 電話一三七番

本社の慰問に對する謝狀一束
朗に君が代を合唱して
東天遙に宮城を拜す
占領直後の陣中春を迎へた
飯野村出身 山崎一好君

米價依然騰勢
錦村の共同販賣
俵八圓四十錢を唱ふ
錦村農會では昨二十五日米二圓五十錢で平町青木、山...

職業戦線進出に
母校磐女が斡旋
グツと砕けた措置に出る
磐女卒業生の中には最近に於いて一個の職業婦人として...

二錢のジヤガイモで
五人の露命を繋ぐ
同潤會の調査で發見した
立町裏長屋の哀れな家庭
平町同潤會では例年通り他者の悲惨に苦しんでゐると...

各家庭を悩ます
押賣りルンペン
凶作關係で一層雪崩れ込む
冬季北海道方面から流れり中には市内を徘徊し物品...

合計廿萬圓突破
平土木監督所管内
昨年中の土木工費
平土木監督所管内道路、河川其他左記の如く昨年中...

六割が有毒
小名濱の酌婦
不時検査成績
平署では此種小名濱の酌婦に就き不時検査を執行し...

實地再檢證
三十日から二日間
植田町字江松松田松三郎高木正明(三)の兩名に係る...

夜祭り事件の
夜祭り再檢證
三十日から二日間
植田町字江松松田松三郎高木正明(三)の兩名に係る...

米擔保低資
郡農會で受付
本縣に二十五萬圓融通される事となつた政府の米擔保...

吉田眼科病院
平町紺屋町
石崎理髮店
大床號
電話一八八